

令和元年度 摂津市立千里丘小学校 第1回 学校協議会 議事録

日時：令和元年10月15日（火）18時～

場所：摂津市立千里丘小学校 会議室

記録：田中 大介（事務局） 教頭

参加者：中田 康之委員、以登田 毅委員、丸山 紘幸委員、青木 みゆき委員
坂本 加代子委員、葛西 昭子委員、校長 撰田裕美、教頭 田中 大介

1. 校長 あいさつ

多くの方からご意見をいただき、学校運営に生かしていきたいと考えています。

よろしくお願いします。

2. 委員 自己紹介

中田 康之	元PTA会長
以登田 毅	元摂津市教職員
丸山 紘幸	主任児童委員
青木 みゆき	民生児童委員
坂本 加代子	民生児童委員
葛西 昭子	PTA会長
木下 さひ子	認定こども園KENTOひまわり園 園長（欠席）

3. 会長選出

今年度は会長を中田様に努めていただきたい。（全員賛成）

4. 学校協議会について（パワーポイント資料を用いて校長より説明）

・学校協議会の目的

校長の学校経営に校長の求めに応じ、地域や保護者の意見を可能な限り反映させるために開催するもの

・学校協議員の人数

これまでより人数を拡大し、15名までとした。

（校長）学校協議会について皆様から質問等があればお願いします。

【意見交換】

（委員）学校が運営について色々な意見をもらうのは時代が変わってきたなと感じています。

(委員) 地域の中から委員を選出することが大変だと思います。委員としての責任を担う必要があるし、人選も大変であるなと思います。

(委員) 今後、学校協議会が学校運営協議会に移行する予定はありますか。

(校長) 学校の判断で学校協議会を学校運営協議会にすることはできません。摂津市として現時点では、学校運営協議会にするということは聞いていません。

4. 学校経営計画について (別紙 学校経営計画を用いて校長より説明)

- ・本校の学校教育目標
- ・学校経営計画及び学校評価
- ①安全で安心できる学校づくりについて
 - 差別のない、安全で安心な学校・学級
 - 命を守るための行動ができる学校
 - 安心できる学校
- ②確かな学力と体力を育む学校づくり
 - 学力向上
 - 体力向上
- ③希望にみちた学校づくり
 - 信頼される学校

(校長) 学校経営計画についてご意見をいただきたく思います。

【意見交換】

(委員) SSW とは何でしょう。

(校長) 様々な関係機関と連携し、保護者・教員・行政などをコーディネートする社会福祉士です。

(委員) ICT 機器とはなんでしょう。

(校長) パソコン、プロジェクター、モニター等の情報通信機器です。

(委員) 学校協議会としての評価も最後に必要になってきますよね。

(校長) そうですね。

(委員) 「児童自治をベースにした児童会の活性化」に関して、いわゆる「ピアサポート」の考え方が大切だと思います。子どもが子どもの相談にのる、子どもが子どもをお互いに見る体制が必要だと思う。「あの子一人やん」とわかることが大切であると思います。

(委員) 今でも6年生は1年生の面倒を見てますよね。我が子は小学校時代に世話してもらった6年生の話をします。そんなことをたくさん話できる子どもが増えたらなと思います。

(委員) そんな雰囲気为学校全体で作ることが大切ですね。子どもが子どもに自然に関わっ

ていく取り組みが大切ですね。運動場でケガした子を高学年が保健室に連れていくみたいな日常的な子ども同士のかかわりが大切ですね。

(委員) 千里丘小学校の児童は良いことした時に「いいカッコしい！」と揶揄されない雰囲気がいいですね。子どもたちが積極的にいいことをしようとしている雰囲気があるとと思います。

(委員) 子どもは大人のことをよくわかっています。いいことをした子どもを過剰に（大人が）褒めすぎるのではなく、さりげなく、自然に褒めることが大切だと思います。

(委員) そんな雰囲気が続くといいですね。

(委員) 千里丘小学校の子どもはどうでしょうか。

(委員) おとなしいように感じています。同じ市内でも地域により子どもたちの雰囲気も違いますね。

(委員) そんな雰囲気だからこそ千里丘小学校では子どもが子どもをお互いで見守ることができていくと思います。

(委員) おとなしい子どもたちが多数の中、気持ちが落ち着かない子どももいますよね。

(校長) そうですね。現在、問題行動といえるものは本校では多くはないと捉えています。でも課題として感じているのは子どもの中には「いや」と言えない子もいます。嫌なことをされても「笑っているからいいんじゃない」と思って、捉えられてしまう傾向があります。なぜ、そのような子どもがいるのか、子どもの背景をさらに深く知る必要があると思っています。（本校の子どもは）人のこととなると、客観的には深く考えることができますが、自身のことについてはどうなるのかということと難しいところではあると捉えています。集団づくりであるとか仲間づくりは本当に難しいと思います。

(委員) なかなか、友達に言い返せない子もいますもんね。

(委員) 子ども同士で（嫌な事をされた時に）「笑っている場合ちゃうやろ！」とつつこめるような雰囲気が大切ですね。

(委員) いじめ等に対して、保護者によっては「お互い様でしょ」となってしまうのはなかなか難しいですね。

(委員) 本人がいやだと思ったらいじめであるという考え方が子どもたちにもさらに定着させる必要がありますね。そうなれば「お互い様」とはならない。嫌なことをされているのに「なんで笑った？」と掘り下げる必要があります。

(委員) 笑うことでまわりに好感を与えようとしているのかもですね。

(委員) 言い返したら、次は自分がやられてしまうという気持ちがあるからだだと思います。

(委員) 親に対して心配をかけたくないという気持ちもあると思います。

(委員) それがたまってしまうとつらいですね。

(委員) いじめの認知件数が増えることはいいことだと思います。きちんと早期に認知して

いるということですので。

(委員)「いじめがありません。」というのはいえなと思います。人と人がかかわりあうところですからね。

(委員)今のいじめの内容は昔と内容が変わってきていますよね。

子ども同士の関係づくりも難しいと思います。

保護者の皆さんはどのような感じですか。

(校長)本校の保護者は非常に学校の取り組み等を理解していただける保護者が多いと思います。ただ、学校管理下で見過ごしていたり、指導が甘かったりすることに対するご意見はいただき、いただかなければならないと思います。

(委員)子どもたちを見ていると総じて大人しいと思う。集団登校の際でも静かにマナー良く集合し、登校しています。

5. 閉会にあたって

(教頭)次回は学校協議会委員による授業参観を予定しています。運動会直前の日程ではありますが授業や休み時間の子どもたちの様子、校内の掲示等を含める施設の状況を見ていただきたく思います。

- ・ 10月31日(木) 2限3限 学校協議会委員による授業参観
- ・ 11月14日(木) 第2回 学校協議会 18時
- ・ 12月 第3回 学校協議会